



高等部卒業式

3月8日は、高等部の卒業式。みんなで心を込めて高3年生、5名を送り出しました。
式では、4月からのクラスの思い出が映像で流され、それぞれが、卒業にむけての思いを自分らしく発表していききました。仲間とともに過ごしたかけがえない日々が思いおこされ、胸が熱くなりました。卒業生は、今日のこの日を深く胸に刻んで、新たな一歩を踏み出します。参加して下さった来賓のみならず、保護者のみなさま、ありがとうございます。

NO. 400
2024年3月11日(月)
発行
神戸大学附属
特別支援学校
〒674-0051
明石市大久保大塚2752-4
Tel 078-936-5683
Fax 078-936-7114
Mail:kuspe-yougo@edu.kobe-u.ac.jp
URL:http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-yougo/

令和五年度 神戸大学附属特別支援学校高等部卒業式 「祝辞」

神戸大学附属特別支援学校高等部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今日の佳き日に、めでたく卒業される五名の皆さんに、神戸大学を代表して祝辞を述べさせていただきます。
皆さんが高等部に入学した2021年4月は、新型コロナウイルス感染症予防のため、学校生活に、さまざまな制約がありました。そんな中、みなさんは、先生方と一緒に様々な工夫しながら、仲間との楽しい高等部生活を作り上げてきました。今年度からは感染予防に気を付けながらも学校生活が平常に戻りましたね。4年ぶりに開催された学習発表会では、西遊記を見事に演じられたと聞きました。仲間と協力して物事に取り組み一体感と充実感を積み上げてこられたことを嬉しく思います。

皆さんは、今日で十二間に及び学校生活を締めくくることがになります。学校生活の中で体験した様々な出来事や、喜び、悲しみなどの感情は、みなさんの大切な宝物となり、これから生きていく支えとなっていくことでしょう。ですから、皆さんは自信を持って、本校での経験をこれからの人生に活かしていきってほしいと思います。

また、今まで皆さんはたくさんの人々に支えられてきました。人は一人では生きてゆけません。助け合い、支え合いながら生きてゆくものです。今まで支えてくださった方への感謝の気持ちを、どうか忘れないでほしいと思います。そして、これから出会うたくさんの方々にも、感謝の気持ちを持ちながら接してください。

保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。立派になられたお子様の姿をご覧になって、感慨もひとしおのことと思います。

これまで、お子様の成長をあたたかく見守り、深い愛情で支え、本日この日を迎えられましたことに、心から喜びを申し上げる次第です。これから、も変わらぬ優しさで厳しさをもって、子どもたちの一番の理解者としてご支援いただきたいと思えます。また、本校に対しても、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

先生方におかれましては本校の伝統を受け継ぎ、教育実践研究を追求し、真摯に子どもたちと向き合い、この笑顔と豊かな個性を育ててこられたことに心より敬意を表します。子どもたちが、この先いろいろな難しい局面に出会ったときには、今後とも、いつでも温かく迎え入れてくれる「ふるさとのような学校」であってほしいと願います。

最後にもう一度、卒業生の皆さん
4月から、新たな生活をサポートさせる皆さんにお願いがあります。これからの新しい生活において、何事にもどんどん挑戦してほしいのです。新しいことを始める時は、心配や不安に思うこともあるかもしれませんが、しかし、本校で学んだ皆さんは人とのやりとりを喜び、困難を乗り越えていくことができるようになります。本校での生活を思い出し、それを勇気に変え、何事にもチャレンジしてください。ご両親はもちろんのこと、先生と一緒に学んだ友だちみんなが、皆さんの味方です。それを忘れないでください。

改めまして、本日はご卒業、本当におめでとうございます。
令和六年三月八日

神戸大学理事・副学長 奥村 弘

道のり 2023度卒業生へ 作詞 作曲 津田 英二 (校長式辞)

須磨の駅を過ぎると海が広がる西へと向かう客船が車窓に浮かぶ
この学校で過ごしたたくさんの月日水面の輝きとともに流れゆく君との時間
あなたの船出が幸せでありますようにあなたの旅が 希望に満ちていますようにあなたの向かう先に待つ人がいますように



えっちらおっちらえっちらおっちらえっちらおっちらえっちらおっちらえっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら
えっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちらおっちらえっちらおっちら



校長先生の式辞は、高3年生の思い出の映像と自作曲「道のり」の弾き語りです。会場にピアノの音が響くとみんなうっとりと聴き入っていました。映像と歌が絡み合い、一人ひとりの「学校生活」で輝いていた姿が思い出され、熱い思いがこみ上げてきました。

僕たちはみんな行く先を知らぬ旅人
この学校で素敵な仲間と出会えた奇跡はまだ見ぬ明日に向かう力になる
あなたの船出が 幸せでありますように
あなたの旅が 希望に満ちていますように
あなたの向かう先に 待つ人がいますように
待つ人がいますように
ごつぎよう おめでとうございます

